

二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

「できること」を見い出す2学期に

校長 黒田 宏一

2学期が始まって約3週間になりました。暑い日もあれば肌寒い日もあり、体調を管理し整えるのに工夫が必要になります。とりわけ今は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から軽微であっても咳・のどの痛みなどの症状がみられるときは、自宅で静養することが求められています。単なる風邪なのかそうではないのか判断することが難しいため気を遣うことが多く大変かと思えます。そんな今こそ、就寝や起床、睡眠時間の確保など規則正しい生活を（改めて）身に付ける時と捉え過ぎていきたいものです。中学生も様々なことに追われがちでつい無理をしてしまうこともあります。すべきことを後回しにせず早めに取り組む習慣をつけられるとよいと思います。

さて、本校HP（ホームページ）に8月に新たな項目が追加になりました。「校歌」を掲載いたしました。これは当ページにもある通り昨年度の卒業生による演奏です。コロナ元年ともいえる昨年度、コメントにもあるように「多くの学校行事が中止され、最上級生としての姿を下級生に見せることができ」なかった生徒の皆さんには、3年生の記録や記憶として残るものが何一つありません。何か残していくことができればとの思いで卒業前の3月に体育館で大きく広がり十分距離をとって録音したものです。レコーディング環境としては決して良いものではありませんでしたが、皆精一杯歌ってくれました。その時3年生に約束しました。「この校歌を皆さんが成人するまでの5年間は、ホームページに掲載し続けます。成人の時に改めて聞いてくれれば幸いです。」と。5年後には社会はどんな姿になっているでしょうか。きっとコロナも収束し当たり前の日常が戻っていることでしょう。いや、そうなってほしいと願っています。そして、マスクなしでも皆で歌えると信じて、今の日常を過ごしていきたいものです。

ところで、今といえば多くの中学校では自治活動の主体者が3年生から2年生へと引き継がれ、本校でも新たな生徒会役員選出の時期となり9月10日（金）には立会演説会が行われました。当日までの1週間は、立候補者や応援の皆さんが、登校時に校門に立ち投票のお願いをしました。マスク・距離・大声を出さないなどの制限の中、公約や決意を模造紙等に認め工夫しながらのお願いでした。そこには、「笑顔」「明るい」という言葉が多く見受けられました。これは様々な制約や我慢をしなければならぬ中学生の今の気持ちを象徴する、そして1日でも早く「笑顔があふれる、明るい学校」にしたいとの生徒の皆さんの願いでもあると思います。前向きに生活しようとする姿に心打たれながら、また自身を鼓舞しながら生徒とともに毎日の歩みを進めていきたいと決意しています。

百～数百年に一度と言われる感染症のパンデミック。今を生きる私たちには、過去の経験がない中で、何が正解か明確な答えが見えず不安な時もあります。それは大人も子供も同じです。時には生徒や子供の意見に「なるほど！」と感心させられ気付くときもあります。2学期の教育活動を実施するにあたり、様々な意見や声に真摯に耳を傾けながら、自身には「できることは何か、できないことはないか。」を常に問い続けながら進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、改めて本校の教育活動に御協力を賜りますようお願いいたします。



● 修学旅行(3年生)

年度当初予定されていた3年生の修学旅行は、緊急事態宣言の延長のため、7月7日から7月9日までの2泊3日で実施することができました。ありがとうございました。さて、今回の修学旅行でのキーワードは3点ありました。「感謝」に包まれた修学旅行でした。当日を迎えるまでに支えてくださった方々への「感謝」。感染予防対策など、自分たちにできることをできる限り頑張っ、経験を共有したいという同じ思いを抱いて臨んだ仲間への「感謝」。帰校後の感染状況は依然厳しく、2学期以降に延期していた学校によっては、中止を余儀なくされることも。それを知ってまたさらに感謝の思いが募るのではないのでしょうか。

“Story into History” 最終日、校長先生が紹介された「ストーリーとヒストリー」の話です。

それぞれ、または集団として紡いだ修学旅行という物語を、人生の歴史にしっかりと刻むことです。お土産は、八つ橋や記念品などの品物だけではなく、行事を自分たちで作り上げるために、必要なことや守らなければならないこと、残りの中学校生活の一編一編をどう記し、のちにどのような歴史にしたいのかです。

そして、「軌跡と奇跡」。事前事後に経験した「軌跡」と、修学旅行を実施できた「奇跡」。さらに、残念ながら当日の天候には恵まれなかったにもかかわらず、事後アンケートに回答者全員が修学旅行を楽しめたと答えた「奇跡」。特に奇跡は、突然降って沸いたものだけではなく、予定調和のような奇跡もあるはず。つまり、努力を積み重ねた御褒美としての奇跡です。進路決定の時を控え、3年生にはぜひ後者の奇跡を起こしてほしいと願っております。修学旅行の写真は学校ホームページに掲載されています。(3年学年主任)



● 租税教室(3年生)

7月12日(月)、立川や国立で活躍されている税理士の方々をお招きし、3年生対象に「租税教室」の御講演をしていただきました。税で身近なものといえば消費税など、私たちの暮らしに関係する税金の用途や納税額の決め方などを学びました。また、感染症対策を講じながらグループワークを行い、積極的に今後の税金の在り方について考える場面もありました。今後、社会を担っていく3年生にとって、将来生きていく「社会」を考える良い時間となりました。2学期は、社会科でも租税について詳しく学習しますので、租税教室で学んだことを生かしてほしいと思います。(3年社会科担当)

● 道徳授業地区公開講座

9月4日(土)道徳授業地区公開講座を感染症拡大防止のため、公開を行わない形で実施いたしました。今年度は、各学年で生徒の身に付けたい内容項目を選び、道徳科の教科書教材を活用した授業を行いました。1年生は、いのちの尊さをテーマに、自己肯定感を高め、自分も友達も大切にしたい生き方について考え、学びました。2年生は、監視カメラで監視されることでマナーが成り立つという記事を通して、よりよい社会を創るためにどうしたらよいかを考え、学びました。また、3年生は、食べ物に好き嫌いがあるように、人によってものの考え方や捉え方が違うことをしあわせと関連させて考え、学びました。A組は、いじめの傍観者の立場でいじめをみつめ、自分が傍観者だったらどう思い、どう行動するか考え、学びました。(道徳担当)



★ 令和3年度「ふつうの日になったのか 原爆の日」展 「原爆の日を忘れないための一行のコトバ」

多数の応募のなかから、国立市政策経営部市長室の厳正な審査の結果、選出されました。

「『平和』って書ける? じゃあ…『平和』って実現できる?」

入選おめでとうございます。8月中旬に国立市公民館などで展示されました。

● お知らせ

本校「家庭と子どもの支援員」の ですが、9月より期限付任用教員として他校で採用されたため、8月31日をもって退職となりました。

次期支援員は、 が担当いたします。よろしくお願いいたします。



● 今後の予定

9月後半 *21(火)・22(水)中間考査 **9月実施予定「都の学力調査」は都のシステム不具合の影響で延期です。**

10月前半 10月に予定していた合唱コンクールは感染症拡大の影響で中止となりました。

*1(金)3年英語プレテスト

*4(月)避難訓練

*9(土)土曜授業(AM)

*14(木)3年復習確認テスト

*15(金)3年進路説明会(PM)

感染症拡大の状況によって日程等の変更がある場合がございます。